

## 平成20年青森県登録販売者試験について

## 1 概要

出願者 692名

受験者 680名

合格者 361名 合格率 53.1%(四捨五入)

## 2 合格基準

総得点の7割であって、かつ、各項目の得点が4割以上

## 3 試験成績

	手引き第1章 (20点)	手引き第2章 (20点)	手引き第3章 (40点)	手引き第4章 (20点)	手引き第5章 (20点)	総得点 (120点)
最高得点	20	20	39	20	20	115
最低得点	6	3	8	2	2	40
平均点	16.2	14.5	24.7	13.2	15.2	83.8

※平均点は四捨五入

## 注意事項

## (1) 得点の閲覧

得点の閲覧を希望する方は、受験票及び身分を確認できるもの（運転免許証等）を持参し、青森県庁北棟6階の医療薬務課へお越しください。（地下に駐車場あり。）

## 閲覧受付期間

平成20年10月1日（水）～ 10月31日（金） 午前9時～午後5時

（ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。）

## (2) 受験票

不合格者のうち、次回の登録販売者試験を受験する方については、受験票をもって添付書類に代えることを認めますので、紛失しないでください。

紛失した場合は、通常どおり添付書類が必要となります。

## (3) 合格通知書

合格通知書の発送は、10月下旬となります。

## (4) 登録申請受付開始予定

登録申請の受付は来年3月1日を予定しています。

#### 4 正解

問30、47、56、70、90、105については、不適切問題として取扱い、全員に加点しました。

問	正解
問1	4
問2	4
問3	2
問4	1
問5	3
問6	1
問7	2
問8	2
問9	3
問10	1
問11	1
問12	3
問13	4
問14	4
問15	4
問16	5
問17	2
問18	5
問19	3
問20	3
問21	2
問22	1
問23	3
問24	5
問25	3
問26	2
問27	3
問28	2
問29	3
問30	全員加点
問31	5
問32	3
問33	1
問34	3
問35	5
問36	4
問37	1
問38	2
問39	2
問40	4

問	正解
問41	1
問42	2
問43	1
問44	5
問45	3
問46	4
問47	全員加点
問48	2
問49	3
問50	4
問51	1
問52	2
問53	3
問54	2
問55	2
問56	全員加点
問57	1
問58	4
問59	3
問60	5
問61	3
問62	5
問63	1
問64	3
問65	3
問66	3
問67	3
問68	1
問69	1
問70	全員加点
問71	3
問72	5
問73	2
問74	2
問75	4
問76	3
問77	4
問78	1
問79	3
問80	4

問	正解
問81	5
問82	2
問83	1
問84	3
問85	3
問86	4
問87	4
問88	1
問89	5
問90	全員加点
問91	5
問92	1
問93	2
問94	3
問95	2
問96	4
問97	3
問98	1
問99	1
問100	4
問101	1
問102	5
問103	2
問104	3
問105	全員加点
問106	4
問107	5
問108	3
問109	5
問110	4
問111	3
問112	1
問113	5
問114	4
問115	2
問116	1
問117	3
問118	2
問119	2
問120	1

## 5 不適切問題について

### 問30

厚生労働省で作成した「試験問題の作成に関する手引き(以下「手引き」とする。)」に、香りによる健胃作用を期待して用いられる生薬(芳香性健胃薬)としてオウゴンが例示されており、「1 オウゴン」を正答として出題しましたが、文献によっては芳香がないとしているものもあり、オウゴンの分類を芳香性健胃薬に限定することには無理があると判断しました。

### 問47

dが正しい記述であるとして出題しましたが、アレルゲンが関与せず皮膚への物理的刺激等により発現する蕁麻疹<sup>じんしん</sup>を「アレルギー症状」と表現することは適切でないと判断しました。

### 問56

試験問題に「2 サンシン」と印刷されていたため、試験会場で「2 サンシシ」と訂正するよう説明しましたが、一部の会場で訂正内容が正確に伝わらなかった可能性があります。

### 問70

cが正しい記述であるとして出題しましたが、手引きでは「骨は生きた組織であり」と記載されています。

「細胞」は骨を構成する要素の一つであり正確な記述ではないと判断しました。

### 問90

手引きに「糖尿病に対する効能効果は、一般用医薬品において認められていない。」と記載されており、cを誤った記述として出題しましたが、市販されている一般用医薬品の中に糖尿病への効果が認められているものがありました。

### 問105

「カフェインを主薬とする眠気防止薬の添付文書には、「胃酸過多の症状がある人は(専門家に)相談すること」を注意事項として記載する」との記述が手引きにあり、「4 無水カフェイン」を正答として出題しましたが、「胃酸過多の症状がある人は服用しないこと」が添付文書に記載すべき正しい注意事項でした。

【問1】

医薬品の本質に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品は、多くの場合、人体に取り込まれて作用し効果を発現させるものである。
- b 医薬品は、人体に直接使用されない限り、人の健康に影響を及ぼすおそれはない。
- c 一般用医薬品は、市販後は原則として、その有効性、安全性等を確認することはない。
- d 医薬品は、人の生命や健康に密接に関連するものであるため、高い水準で均一な品質が保証されなければならない。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	正	誤
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	誤	正
5	誤	誤	正	正

【問2】

医薬品の副作用に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品を十分注意して適正に使用した場合は、副作用が生じることはない。
- 2 特段の不都合を生じないものであっても、主作用以外の反応であれば、通常、副作用として扱われる。
- 3 我が国では、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法で「疾病の予防、診断、治療のため、又は身体の機能を正常化するために、人に通常用いられる量で発現する医薬品の有害かつ意図しない反応」を医薬品の副作用と定義している。
- 4 複数の疾病を有する人の場合、ある疾病のために使用された医薬品の作用が、その疾病に対して薬効をもたらす一方、別の疾病に対しては症状を悪化させることがある。

【問3】

医薬品の副作用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の副作用は、「薬理作用による副作用」と「アレルギー（過敏反応）」に大別される。
- b 医薬品の作用は未知の部分も多く、これまでに報告がない副作用が生じる可能性がある。
- c アレルギーは、内服薬だけでなく外用薬でも引き起こされることがある。
- d アレルギー症状は、体の各部位に生じる炎症で、結膜炎症状、鼻炎症状及びかぶれ等の症状が多く見られる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	正	正
3	誤	正	誤	正
4	誤	誤	正	誤
5	正	正	誤	正

【問4】

アレルギーに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 鶏卵や牛乳にアレルギーがある人は、医薬品に対しても注意が必要な場合がある。
- b アレルギーには体質的・遺伝的な要素はない。
- c 基本的に薬理作用がない添加物は、アレルギーを引き起こす原因物質とならない。
- d 普段、医薬品にアレルギーを起こしたことがない人でも、病気等に対する抵抗力が落ちている状態などの場合には、医薬品がアレルゲンになりやすくなる。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	誤	正	誤	誤
3	誤	誤	正	正
4	正	誤	正	誤
5	正	正	誤	正

【問5】

一般用医薬品に関する以下の記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

一般用医薬品は、軽度の疾病に伴う症状の改善等を図るもので、( a )の判断で使用するものであり、副作用等の兆候が現れたときには基本的に( b )とされている。

	a	b
1	医師	医師や薬剤師などに相談すること
2	医師	使用を中止すること
3	一般の生活者が自ら	使用を中止すること
4	一般の生活者が自ら	医師や薬剤師などに相談すること
5	薬剤師	医師や薬剤師などに相談すること

【問6】

酒類と医薬品の飲み合わせに関する以下の記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

酒類は、主として( a )で代謝されるため、酒類をよく摂取する者では、その代謝機能が( b )いることが多い。

その結果、アセトアミノフェンなどでは、通常より代謝され( c )なる。

	a	b	c
1	肝臓	高まって	やすく
2	肝臓	低下して	やすく
3	肝臓	低下して	にくく
4	腎臓	高まって	にくく
5	腎臓	低下して	やすく

【問7】

医薬品の相互作用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 食品であっても、医薬品の成分と同じ物質を含むものもある。
- b かぜ薬は、アレルギー用薬と成分や作用が重複することが多い。
- c 一般的に「痛み止め」と「熱さまし」は、相互作用を起こしにくい。
- d 貧血用薬は、緑茶、紅茶、コーヒーなどと相互作用を起こすことがあるため、服用前後はそれらの摂取を控えることとされている。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	正	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	誤	正	正

【問8】

医薬品と他の医薬品や食品との相互作用に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 通常、同じ薬効成分が重複しなければ、相互作用は発生しない。
- 2 相互作用には、医薬品が吸収、代謝、分布又は排泄される過程で起こるものと、医薬品が薬理作用をもたらす部位で起こるものがある。
- 3 相互作用によって医薬品の作用が増強することはあるが、減弱することはない。
- 4 保健機能食品は、医薬品と相互作用を起こすことはない。

【問9】

小児等の医薬品使用に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品の使用上の注意等において、乳児とはおおよその目安で3歳未満の年齢区分をいう。
- b 小児は、大人と比べて身体の大きさに対して腸が長いため、服用した医薬品の吸収率が高い。
- c 小児では、医薬品成分の代謝や排泄が速やかに行われるため、作用が弱まることもある。
- d 小児では、吸収され循環血液中に移行した医薬品成分が脳に達しやすい。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

【問10】

小児に医薬品を使用する場合の注意事項に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 小児へ医薬品を与える場合は、成人用の医薬品の量を減らして与える必要がある。
- b 乳児向けの用法用量が設定されている医薬品であっても、乳児は医薬品の影響を受けやすく、一般用医薬品の使用の適否が見極めにくいいため、基本的には医師の診療を受けることが優先される。
- c 乳幼児の一般用医薬品による誤飲・誤用事故の場合には、応急処置等について関係機関の専門家に相談することが望ましい。
- d 小児への使用を避けることとされている医薬品の販売に際しては、購入者から想定される使用者等の状況を聞くなどしたうえで、積極的な情報提供を行うことが必要である。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	誤	正	正	誤
4	正	誤	正	正
5	正	誤	誤	誤

【問11】

次の記述は一般用医薬品の使用に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 高齢者であっても基礎体力や生理機能の衰えは個人差が大きいため、実際にその医薬品を使用する高齢者の個々の状況に即して、情報提供や相談対応を適切に行うことが重要である。
- b 一般用医薬品の用法用量は、使用する人の生理機能の個人差をある程度見込んで設定しているので、高齢者であっても基本的には定められた用量の範囲内で使用されることが望ましい。
- c 嚥下障害とは、医薬品の副作用で口渇を生じることをいう。
- d 用法用量どおりに使用すれば、基礎疾患の症状の悪化や治療の妨げとなることはない。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)



【問 1 2】

次の記述は、妊婦及び妊娠していると思われる女性に対する医薬品の使用に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 胎盤には胎盤関門があるため、母体が医薬品を使用しても胎児には影響がない。
- b ビタミンA含有製剤は、妊娠前後の一定期間に通常の用量を超えて摂取すると、胎児に先天異常を起こす危険性が高まる。
- c 便秘薬の配合成分、用量によっては、流産や早産を誘発するおそれがあるものがある。
- d 塩酸ジフェンヒドラミンは、妊娠期間の延長等のおそれがあるため、出産予定日15週以内の服用は避ける。

- 1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

【問 1 3】

医療機関で治療を受けている人の一般用医薬品の使用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 慢性疾患の種類や程度によっては、一般用医薬品の有効性や安全性に影響を与える要因となることがある。
- b 登録販売者は、一般用医薬品と医療用医薬品との併用の可否を判断することは困難なことが多いため、その併用については医師、薬剤師等に相談するよう説明する必要がある。
- c 高血圧の治療を受けている人が鼻炎用点鼻薬を使用した場合、交感神経興奮作用により血圧を必要以上に下げてしまうおそれがある。
- d 肝臓病の治療を受けている人は、小柴胡湯<sup>しょうさいこうとう</sup>の服用により間質性肺炎の副作用が現れやすい。

- |   | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 4 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 5 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |

【問 1 4】

第 1 欄の記述は医薬品の作用に関するものである。( ) の中に入れるべき字句は第 2 欄のどれか。なお、2 箇所( ) 内はどちらも同じ字句が入る。

第 1 欄

医薬品を使用したとき、結果的又は偶発的に薬理作用によらない作用を生じること( ) 効果という。( ) 効果は、医薬品を使用したこと自体による楽観的な結果への期待や、条件付けによる生体反応、時間経過による自然発生的な変化等が関与して生じると考えられている。

第 2 欄

- 1 プロドラッグ
- 2 アルサス
- 3 ホメオスタシス
- 4 プラセボ
- 5 タキフィラキシー

【問 1 5】

医薬品の品質に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品は、適切な保管・陳列をすれば品質の劣化は起こらない。
- 2 表示されている使用期限は、いったん開封して保管してもその品質を保証する期限である。
- 3 医薬品は、高い水準で均一な品質が保証されているので、保管温度の管理は不要である。
- 4 一般用医薬品は、購入後すぐに使用されるとは限らないことから、使用期限から十分な余裕を持って販売する必要がある。

【問16】

医薬品の販売時に購入者から確認しておきたい事項に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a その医薬品を使用するのは購入者自身か、又はその家族等のために購入するの  
か。
- b その医薬品を使用する人として、小児や高齢者等が想定されないかどうか。
- c その医薬品を使用する人は、過去にアレルギーの経験があるか。
- d その医薬品がすぐに使用される状況にあるか。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	正	正	誤	正
4	正	正	正	誤
5	正	正	正	正

【問17】

セルフメディケーションに関する以下の記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a WHOによれば、セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする」こととされている。
- b セルフメディケーションとは、積極的に一般用医薬品を使用して疾病の治療を行うことである。
- c 症状が重いときに一般用医薬品を使用することは認められていない。
- d 一般用医薬品の販売などに従事する専門家は、購入者に対して常に科学的な根拠に基づいた正確な情報提供を行い、セルフメディケーションを適切に支援していくことが期待されている。

- 1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

【問 1 8】

薬害に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の副作用は、科学的に解明されており、医薬品を十分注意して使用すれば薬害が起こることはない。
- b 過去に薬害の原因となったキノホルム製剤については、一般用医薬品として販売されたものはないが、一般用医薬品の販売等に従事する者においては、薬害事件の歴史を十分に理解し、安全性の確保に努めることが必要である。
- c C J D 訴訟を契機として、2002年、医薬品の副作用による健康被害の迅速な救済を図るため、医薬品副作用被害救済制度が創設された。
- d 医薬品の副作用等による健康被害の再発防止に向け、製薬企業に対し副作用報告に加えて感染症報告も義務付けられている。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	誤	正	誤	誤
3	誤	誤	正	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【問 1 9】

薬害に関する以下の記述について、正しいものはどれか。

- 1 スモン訴訟は、風邪薬として販売されていたキノホルム製剤を使用したことによる薬害事件である。
- 2 スモンは、その症状として、認知症に類似した症状が現れ、死に至る重篤な神経難病である。
- 3 サリドマイド製剤は、催眠鎮静剤等として販売され、妊娠している女性が使用したことによって被害が拡大した。
- 4 サリドマイド製剤については、1961年11月、西ドイツのレント博士がその服用による催奇形性について警告を発したため西ドイツで製品が回収され、我が国でも同時に回収措置が講じられた。

【問 2 0】

次の記述はH I V訴訟に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 血友病患者が、H I Vが混入した血液を輸血されたことにより、H I Vに感染したことに対する損害賠償訴訟である。
- b 本訴訟の和解を踏まえ、国は、H I V感染者に対する恒久対策として、エイズ治療研究開発センター及び拠点病院の整備や治療薬の早期提供等の様々な取組みを推進してきている。
- c 本訴訟を契機として、献血時の問診の充実が図られた。
- d H I Vとは、I型肝炎ウイルスを総称した名前である。

- 1 ( a、 b)      2 ( a、 d)      3 ( b、 c)      4 ( c、 d)

【問 2 1】

次のかぜ薬の成分の中で、15歳未満の小児で水痘（水疱瘡<sup>とうぼうそう</sup>）又はインフルエンザにかかっているときは使用を避ける必要がある成分はどれか。

- 1 アセトアミノフェン
- 2 サリチルアミド
- 3 リン酸ジヒドロコデイン
- 4 塩酸ブロムヘキシン
- 5 塩化リゾチーム

【問 2 2】

次の解熱鎮痛成分の中で、一般用医薬品では、小児に対してはいかなる場合も使用しないこととなっている成分はどれか。

- 1 アスピリン
- 2 アセトアミノフェン
- 3 サリチルアミド
- 4 イソプロピルアンチピリン
- 5 エテンザミド

**【問 2 3】**

抗コリン成分として、くしゃみや鼻汁を抑える働きをする成分はどれか。

- 1 塩化リゾチーム
- 2 塩酸プソイドエフェドリン
- 3 ヨウ化イソプロパミド
- 4 リン酸コデイン
- 5 ブロメライン

**【問 2 4】**

次の成分のうち、抗ヒスタミン成分はどれか。

- 1 グアイフェネシン
- 2 塩酸クロペラスチン
- 3 塩酸ブロムヘキシン
- 4 臭化水素酸デキストロメトルファン
- 5 フマル酸クレマスチン

**【問 2 5】**

次の成分のうち、フィブリノゲンやフィブリンを分解する作用があるので、血液凝固異常の症状がある人は、注意が必要な成分はどれか。

- 1 トラネキサム酸
- 2 塩化リゾチーム
- 3 ブロメライン
- 4 ノスカピン
- 5 グリチルリチン酸二カリウム

【問 2 6】

次の漢方処方製剤のうち、その成分にマオウを含み、まれに重篤な副作用として、肝機能障害を生じるものはどれか。

- 1 小柴胡湯しょうさいことう
- 2 小青竜湯しょうせいりゅうとう
- 3 桂枝湯けいしとう
- 4 麦門冬湯ばくもんどうとう
- 5 麻黄湯まおうとう

【問 2 7】

プロスタグランジンに関する以下の記述のうち、正しい組み合わせはどれか。

- a 解熱鎮痛成分（アセトアミノフェンを除く。）は、中枢でのプロスタグランジンの産生を増加させて、腎臓での水分の再吸収を抑える。
- b 解熱鎮痛成分（アセトアミノフェンを除く。）は、末梢でのプロスタグランジンの産生を抑えて、腎臓の血流量を低下させる。
- c プロスタグランジンには、胃酸の分泌を調整する働きのほか、胃粘膜の保護に寄与する働きもある。
- d プロスタグランジンは、脳の下部にある温熱中枢に作用し、通常よりも体温が低く調節されるように働く。

- 1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

【問28】

解熱鎮痛成分の作用に関する以下の記述について、正しい組み合わせはどれか。

- a アセトアミノフェンは、主として中枢作用により、解熱・鎮痛・抗炎症作用をもたらす。
- b アスピリンは、他の成分より胃腸障害が起こりやすい。また、血液を凝固させにくくさせる作用がある。
- c イブプロフェンは、主として、解熱・鎮痛作用をもたらすが、抗炎症作用は期待できない。また、プロスタグランジンの産生を亢進する作用により、胃・十二指腸潰瘍等の再発を招くおそれがある。
- d エテンザミドは、痛みの伝わりを抑える働きが優位とされる解熱鎮痛成分である。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	誤	正	誤	正
3	誤	正	正	誤
4	正	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

【問29】

鎮<sup>うん</sup>暈薬に関する以下の記述のうち、正しい組み合わせはどれか。

- a 乗物酔い防止薬には、5歳未満の乳幼児向けの製品はない。
- b 乗物酔い防止薬には、局所麻酔成分が配合されている製品がある。
- c 乗物酔い防止薬には、中枢神経系を興奮させる成分が配合されている製品がある。
- d 乗物酔い防止薬には、抗コリン成分が配合されている製品はない。

- 1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)



**【問30】**

香りにより健胃作用をもたらす成分はどれか。

- 1 オウゴン
- 2 オウバク
- 3 オウレン
- 4 センブリ
- 5 ユウタン

**【問31】**

次の胃腸薬の成分のうち、アルミニウムを含むため、透析を受けている人は使用を避ける必要があるものはどれか。

- 1 ゲファルナート
- 2 テプレノン
- 3 ソファルコン
- 4 塩酸セトラキサート
- 5 アルジオキサ

**【問32】**

次の成分のうち、胃粘膜保護・修復作用のある成分はどれか。

- 1 ウルソデオキシコール酸
- 2 デヒドロコール酸
- 3 メチルメチオニンスルホニウムクロライド
- 4 ジメチルポリシロキサン
- 5 グリチルリチン酸モノアンモニウム

【問 3 3】

腸の薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a タンニン酸アルブミンは、細菌性の下痢や食中毒に効果的である。
- b 次没食子酸<sup>もつしよくし</sup>ビスマスは、腸粘膜のタンパク質と結合し、収斂<sup>れん</sup>作用により炎症を鎮める。
- c 塩酸ロペラミドは、食あたりや水あたりによる下痢に効果的である。
- d クレオソートは、医薬品として使用されるのは、木クレオソートと石炭クレオソートがある。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	誤

【問 3 4】

次の成分のうち、まれに重篤な副作用としてアナフィラキシーショックを生ずる成分はどれか。

- 1 臭化メチルオクタトロピン
- 2 臭化メチルベナクチジウム
- 3 臭化ブチルスコポラミン
- 4 塩酸オキシフェンサイクリミン
- 5 塩酸ジサイクロミン

【問 3 5】

次の成分の中で、抗コリン作用により胃痛、腹痛等を鎮める効果のある成分はどれか。

- 1 塩酸パパベリン
- 2 アミノ安息香酸エチル
- 3 メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
- 4 オキセサゼイン
- 5 塩酸ジサイクロミン

【問36】

胃腸鎮痛鎮痙薬の抗コリン成分に関する記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

これらの成分が ( a ) 神経系の働きを抑える作用は消化管に ( b ) 。

	a	b
1	交感	限定される
2	交感	限定されない
3	副交感	限定される
4	副交感	限定されない
5	中枢	限定されない

【問37】

駆虫成分に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 パモ酸ピルビニウムは、回虫の呼吸や栄養分の代謝を抑えて殺虫作用を示す。
- 2 カイニン酸は、回虫に痙攣を起こさせる作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。
- 3 サントニンは回虫の自発運動を抑える作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。
- 4 リン酸ピペラジンは、回虫の運動筋を麻痺させる作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。

【問38】

コレステロールに関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 コレステロールは細胞の構成成分で、生体に不可欠な物質であり、主に腎臓で産生・代謝される。
- 2 コレステロールは血液中では血漿タンパク質と結合したり、リポタンパク質となって存在する。
- 3 低密度リポタンパク質は、コレステロールを腎臓から末梢組織へ運ぶ。
- 4 高密度リポタンパク質は、コレステロールを腎臓から末梢組織へ運ぶ。

【問 39】

次の成分の記述について、( ) の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

パンテチンは、( a ) におけるコレステロール代謝を正常化する働きがあるとされ、LDLの分解を( b )、また、HDLを( c ) させる効果を期待して用いられる。

	a	b	c
1	腎臓	促し	減少
2	肝臓	促し	増加
3	腎臓	抑制し	増加
4	肝臓	抑制し	減少
5	肝臓	促し	減少

【問 40】

次の表はある強心薬に含まれている成分の一覧である。

6錠中			
ジンコウ末	100mg	リタン	10mg
レイヨウカク末	10mg	リュウノウ	30mg
サフラン	3mg	シンジュ末	12mg
ゴオウ	2mg	ニンジン	250mg

この薬に含まれる成分等に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a この製剤は、<sup>か</sup>嚙まずに服用することとされている。
- b レイヨウカクは、中枢神経系の刺激作用による気つけの効果を期待して用いられる。
- c リュウノウは、中枢神経系の刺激作用による気つけの効果を期待して用いられる。
- d ゴオウは、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮を静める等の作用があるとされる。

- 1 (a、b)    2 (a、d)    3 (b、c)    4 (c、d)

【問 4 1】

次の表は、ある痔疾用外用薬に含まれている成分の一覧である。

1 個 (2 g) 中	
アミノ安息香酸エチル	4 0 m g
酢酸トコフェロール	1 5 m g
グリチルレチン酸	2 0 m g
アラントイン	1 5 m g
タンニン酸	5 0 0 m g

この痔疾用外用薬に含まれる成分のうち、まれに重篤な副作用としてショック（アナフィラキシー）を生じることがあるものはどれか。

- 1 アミノ安息香酸エチル
- 2 酢酸トコフェロール
- 3 グリチルレチン酸
- 4 アラントイン

【問 4 2】

漢方処方製剤の乙字湯おつじとうに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 通常、構成生薬としてカンゾウ、ダイオウを含んでいる。
- b 切れ痔、痔瘻の痔出血の症状に適すとされる。
- c まれに重篤な副作用として、肝機能障害、間質性肺炎を生じることがある。
- d 体の虚弱な人、胃腸が弱く下痢しやすい人では、悪心・嘔吐、激しい腹痛を伴う下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	正	誤	正

【問 4 3】

禁煙補助剤に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 ニコチン置換療法は、ニコチンの摂取方法を喫煙以外に換えて、離脱症状の軽減を図りながら徐々に摂取量を減らし、最終的にニコチン摂取量をゼロにする方法である。
- 2 口腔内が酸性になると、ニコチンの吸収が促進されるため、コーヒーや炭酸飲料など口腔内を酸性にする食品を摂取した後、しばらくは使用を避けることとされている。
- 3 菓子のガムのように噛むと、唾液が多く分泌され、ニコチンが唾液とともに口腔粘膜から十分に吸収されて循環血液中に移行するため、この咀嚼方法が推奨されている。
- 4 禁煙補助剤により、ニコチン離脱症状を軽減しながら、徐々にその量を減らしていくこととし、初めから無理に減らそうとしないほうが、結果的に禁煙達成につながると思われる。そのため、長期間に渡って使用するほうがよいとされている。

【問 4 4】

女性ホルモンに関する記述について、( ) の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

月経周期は、種々のホルモンの複雑な相互作用によって調節されており、( a ) で産生されるホルモンと、卵巣で産生される女性ホルモンが月経周期に関与する。

加齢とともに卵巣からの女性ホルモンの分泌が減少し、やがて妊娠可能な期間が終了することを( b ) という。この前後には、( c ) と呼ばれる移行的な時期があり、体内の女性ホルモンの量が大きく変動することがある。

	a	b	c
1	脳の下部	閉経	血の道症
2	副腎	更年期	血の道症
3	卵巣	更年期	不定愁訴
4	副腎	閉経	更年期
5	脳の下部	閉経	更年期

【問45】

婦人用薬と女性に現れる特有の症状に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 おりものは、膣や子宮に炎症や感染症を起こした場合にのみみられる。
- 2 漢方処方製剤の婦人用薬を数日間服用したが、症状の改善がみられなかったので、別のタイプの婦人用薬に変更した。
- 3 過度のストレスや、不適切なダイエット等による栄養摂取の偏りが、月経前症候群を悪化させる要因となることもある。
- 4 漢方処方製剤の婦人用薬では、通常、特有な生薬成分が配合されており、他の生薬成分を含有する医薬品とは配合成分が異なるため、併用しても重複摂取になることはない。

【問46】

以下の記述は、アレルギー用薬の成分に関するものである。記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a ビタミン成分は、皮膚や粘膜の炎症を和らげるとともに、健康維持・回復に必要な成分である。
- b 抗コリン成分は、交感神経の働きを抑えることによって、鼻汁分泌や、くしゃみを抑える成分である。
- c アドレナリン作動成分は、副交感神経を刺激して、鼻粘膜の充血や腫れ<sup>は</sup>を和らげる成分である。
- d 抗ヒスタミン成分は、肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることにより、ヒスタミンの働きを抑える作用を示す成分である。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	正	誤	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	正	誤	正

【問47】

アレルギーに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a アレルギー症状を軽減するには、日常生活におけるアレルゲンの除去・回避といった根源的な対応が重要である。
- b アレルギー症状が現れる前から予防的にアレルギー用薬を使用することを、減感作療法という。
- c アレルゲンが皮膚や粘膜から体内に入り込むと、その物質を特異的に認識した免疫グロブリンによって肥満細胞が刺激されて、ヒスタミン等の生理活性物質が遊離され、血管拡張や血管透過性亢進等がおこる。
- d 蕁麻疹は、アレルゲンとの接触以外に、皮膚への物理的刺激等によっても、アレルギー症状が現れることがある。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	正	誤	誤
4	誤	誤	誤	正
5	正	誤	正	誤

【問48】

次の記述は、アレルギー用薬等に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品には、アトピー性皮膚炎等による慢性湿疹、痒み等の症状に用いることを目的とするものはない。
- b 一般用医薬品のアレルギー用薬を、アレルギー症状が現れる前から予防的に使用してもよい。
- c 医薬品の使用中に、アレルギー症状が悪化・拡大した場合には、医薬品の副作用である可能性を考慮し、その医薬品の服用を中止して医療機関を受診することが望ましい。
- d 蕁麻疹や鼻炎等のアレルギー症状に対して、一般用医薬品のアレルギー用薬を、長期的な症状の緩和に用いてもよい。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)



【問 4 9】

鼻炎用点鼻薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 剤型はスプレー式で、鼻腔内に噴霧するものだけである。
- b アドレナリン作動成分が配合された点鼻薬は、過度に使用されると、鼻づまりがひどくなりやすい。
- c スプレー式鼻炎用点鼻薬は、噴霧後に鼻汁とともに逆流する場合があるので、使用する前に鼻をよくかんでおく必要がある。
- d 一般用医薬品の鼻炎用点鼻薬の対応範囲に、蓄膿症は含まれている。

1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

【問 5 0】

点眼薬等の眼科用薬の使用方法に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 眼科用薬には、副作用として、目の充血や痒み、腫れが現れることがあるが、全身性の副作用はない。
- b 一般用医薬品の点眼薬は、一般点眼薬、抗菌性点眼薬、アレルギー用点眼薬に大別される。
- c 点眼後は、数秒間、まぶたを閉じて薬液を結膜囊内に行き渡らせる。その際、目頭を軽く押さえると薬液が鼻腔内へ流れ込むのを防ぐことができ、効果的である。
- d 一回使い切りタイプの防腐剤を含まない製品では、ソフトコンタクトレンズ装着時にも使用できるものがある。

1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

【問51】

次の表はある点眼薬に含まれている成分の一覧である。

15 mL 中	
スルファメトキサゾールナトリウム	0.60 g
イプシロン・アミノカプロン酸	0.15 g
グリチルリチン酸二カリウム	0.15 g

この点眼薬の適応症として考えられるものとして、正しいものはどれか。

- 1 まぶたのただれ
- 2 緑内障
- 3 目の乾きの改善
- 4 目の調節機能改善
- 5 花粉症

【問52】

次の1～5で示される成分のうち、手指、皮膚の消毒のほか、器具等の殺菌、消毒にも用いられるものはどれか。

- 1 オキシドール
- 2 エタノール
- 3 次亜塩素酸ナトリウム
- 4 塩化ベンザルコニウム
- 5 ポピドンヨード

【問 5 3】

外皮用薬で鎮痛等を目的として用いられる成分に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 内服で用いられる解熱鎮痛成分と同様であるが、外用薬であるため、喘息の副作用を引き起こす可能性はない。
- 2 鎮痛効果を増すためには、長期連用をする必要がある。
- 3 殺菌作用はないため、皮膚感染症に対して効果がなく、痛みや腫れを鎮めることでかえって皮膚感染が自覚されにくくなるおそれがある。
- 4 外用薬の場合、妊婦又は妊娠していると思われる女性にも使用して差し支えない。

【問 5 4】

以下の外皮用薬に含まれる成分とその成分を配合する目的との関係について、正しい組み合わせはどれか。

- |   |            |       |                         |
|---|------------|-------|-------------------------|
| a | 硝酸エコナゾール   | ———   | 抗真菌作用を有する（みずむし薬に配合）     |
| b | 硫酸フラジオマイシン | —     | 抗ヒスタミン作用を有する（皮膚の痒みを抑える） |
| c | ケトプロフェン    | ————— | ステロイド性抗炎症成分（痛みを抑える）     |
| d | サリチル酸      | ————— | 角質軟化作用を有する（いぼ、うおのめ、たこ）  |

- 1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

【問55】

歯槽膿漏薬に関する記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

歯槽膿漏薬は、( a )、歯槽膿漏の諸症状の緩和を目的とする医薬品である。患部局所に適用する外用薬のほか、内服で用いる歯槽膿漏薬もある。内服薬は、( b )、( c )等が配合されたもので、外用薬と併せて用いると効果的なものである。

	a	b	c
1	歯痛	鎮痛成分	ビタミン成分
2	歯肉炎	抗炎症成分	ビタミン成分
3	歯痛	鎮痛成分	局所麻酔成分
4	歯肉炎	抗炎症成分	局所麻酔成分
5	歯肉炎	鎮痛成分	ビタミン成分

【問56】

次の記述は歯痛薬に配合される生薬成分を説明したものである。( )の中に入れるべき正しい字句はどれか。

( )は、アカネ科のクチナシの果実を用いた生薬で、抗炎症作用を期待して用いられる。

- 1 シコン
- 2 サンシン
- 3 カッコン
- 4 サンザシ
- 5 サイコ

【問57】

滋養強壯保健薬に関する以下の記述のうち、正しい組み合わせはどれか。

- a 滋養強壯保健薬は、体調の不調を生じやすい状態や体質の改善、特定の栄養素の不足による症状の改善、または予防を目的とした医薬品である。
- b カシュウ、ゴオウ、ゴミン、ジオウ、ロクジョウ等の生薬成分は、医薬部外品に配合される生薬成分である。
- c 滋養強壯保健薬は、多く摂取したからといって適用となっている症状の改善が早まるものでなく、また、滋養強壯の効果が高まるものでもない。
- d ビタミン等の補給を目的とするものとして医薬部外品の保健薬があるが、それらの効能効果は、滋養強壯、虚弱体質の改善のほか、神経痛、しみ、そばかすの症状についても認められている。

- 1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

【問58】

ビタミン剤に含まれる成分とその成分を配合する目的との関係について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 酪酸リボフラビン ———— 口角炎、口内炎、肌荒れ、湿疹<sup>しん</sup>、手足のしびれの症状をやわらげる。
- b コンドロイチン硫酸 ———— 肝臓の働きを助け、肝血流を促進する働きがあり全身倦怠感<sup>けん</sup>をやわらげる。
- c 塩酸チアミン ————— 神経痛、筋肉痛、関節痛（腰痛、肩こり等）、脚気の症状をやわらげる。
- d パルチミン酸レチノール — 目の乾燥感、夜盲症の症状をやわらげる。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

【問59】

消毒薬の誤用、事故等による中毒への対処に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 誤って飲み込んだ場合 —— 通常は多量の牛乳や水を飲ませるが、原末や濃厚液を飲みこんだ場合は、すぐに吐き出させる。
- 2 誤って目に入った場合 —— 酸やアルカリが目に入った場合は、酸はアルカリで、アルカリは酸で中和する。
- 3 誤って皮膚に付着した場合 — 流水をかけながら着衣をとり、石鹼を用いて流水で皮膚を十分に水洗する。
- 4 誤って吸入した場合 —— 意識がない場合は、その場で人工呼吸などをする。

【問60】

殺虫剤に含まれている殺虫成分、昆虫成長阻害成分、殺虫補助成分、忌避成分について、正しい組み合わせはどれか。

- 1 ピレスロイド系殺虫成分 — ジクロルボス
- 2 昆虫成長阻害成分 —— フェノトリン
- 3 殺虫補助成分 —— プロポクスル
- 4 有機リン系殺虫成分 —— ピペニルブトキサイド (PBO)
- 5 忌避成分 —— ディート

【問 6 1】

胃の機能に関する記述について、( ) の中に入れるべき字句はどれか。

胃の粘膜の表面には無数の微細な孔があり、胃腺<sup>いせん</sup>につながって胃酸のほかに( )  
などを分泌している。

- 1 ペプシン
- 2 ペプトン
- 3 ペプシノーゲン
- 4 トリプシノーゲン
- 5 トリプシン

【問 6 2】

膵臓<sup>すい</sup>の働きに関する記述について、( ) の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

膵臓<sup>すい</sup>は、膵液<sup>すい</sup>を( a ) へ分泌する消化腺<sup>せん</sup>であるとともに、( b ) を調節するホルモンなどを血液中に分泌する内分泌腺<sup>せん</sup>でもある。

- |   | a    | b   |
|---|------|-----|
| 1 | 肝臓   | 血圧  |
| 2 | 肝臓   | 体温  |
| 3 | 肝臓   | 血糖値 |
| 4 | 十二指腸 | 体温  |
| 5 | 十二指腸 | 血糖値 |

【問 6 3】

心臓の働きに関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 心臓は心筋から構成される、握りこぶし大の袋状の臓器で、胸骨の真下に位置する。
- 2 リンパ液は心臓がポンプの役目を果たすことによって循環している。
- 3 心臓の内部は上部左右に心室、下部左右の心房の4つの空洞に分かれている。
- 4 心臓は心室で血液を集めて心房に送り、心房から血液を拍出する。

【問64】

血管系に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 心臓から拍出された血液を送る血管を静脈、心臓へ戻る血液を送る血管を動脈という。
- b 動脈は弾力性があり、圧力がかかっても耐えられる。
- c 毛細血管の薄い血管壁を通して、酸素と栄養分が血液中から組織へ運び込まれ、それと交換に二酸化炭素や老廃物が組織から血液中に取り込まれる。
- d 消化管壁に存在する毛細血管の大部分は、門脈と呼ばれる血管に集まって腎臓に入る。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	誤	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	正	誤	正	誤

【問65】

血液に関する記述について、（ ）の中に入れるべき字句はどれか。

血管が損傷すると、血管壁を収縮させることで血流を減少させ、大量の血液が流出するのを防ぐ。同時に損傷部位に（ ）が粘着、凝集して傷口を覆う。

- 1 赤血球
- 2 白血球
- 3 血小板
- 4 マクロファージ
- 5 ヘモグロビン



【問66】

泌尿器系に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 腎臓には、心臓から拍出される血液の1/5～1/4が流れている。
- b 副腎皮質では、自律神経系に作用するアドレナリンとノルアドレナリンが産生・分泌される。
- c 腎臓と膀胱は尿道でつながっており、腎臓から膀胱を経て尿管に至る尿の通り道を尿路という。
- d 男性では、膀胱の真下に尿管を取り囲むように前立腺があり、加齢とともに前立腺が肥大し、尿管を圧迫して排尿困難などを生じることがある。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	誤	正	誤	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	誤	正	誤
5	誤	正	正	正

【問67】

呼吸器系に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 鼻腔から肺までの呼気及び吸気の通り道を気道といい、そのうち、気管から気管支、肺までの部分を上気道という。
- b 鼻汁にはリゾチームが含まれ、気道の防御機構の一つとなっている。
- c 扁桃はリンパ組織（白血球の一種であるリンパ球が密集する組織）が集まってできている。
- d 肺は、自体の筋組織を動かすことで、膨らんだり縮んだりして、呼吸運動を行う。

- 1 (a、c)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (b、d)

【問68】

鼻に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 鼻腔の粘膜に炎症を起こして腫れた状態を鼻炎という。
- b 鼻腔粘膜が腫れると副鼻腔の開口部がふさがりやすくなる。
- c 副鼻腔は、薄い板状の軟骨と骨でできた鼻中隔によって左右に仕切られている。
- d 副鼻腔は、鼻腔と違い、線毛を有し粘液を分泌する細胞でできた粘膜で覆われている。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

【問69】

皮膚に関する記述について、(      )の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

体温が上がり始めると、皮膚を通っている毛細血管に血液がより多く流れるように血管が( a )し、体外へより多く熱を排出する。また、汗腺から汗を分泌し、その蒸発時の( b )を利用して体温を下げる。

- |   | a  | b   |
|---|----|-----|
| 1 | 拡張 | 気化熱 |
| 2 | 収縮 | 気化熱 |
| 3 | 拡張 | 凝縮熱 |
| 4 | 収縮 | 凝縮熱 |
| 5 | 拡張 | 昇華熱 |

【問 7 0】

骨格系に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 骨の基本構造は、骨質、骨膜、骨髄、関節軟骨の四組織からなる。
- b 赤血球、白血球、血小板は骨質で産生される造血幹細胞から分化して、体内に供給される。
- c 骨は生きた細胞であり、成長が停止した後も一生を通じて破壊と修復が繰り返される。
- d 有機質は骨に硬さを与え、無機質は骨の強靱さを保つ役割を担う。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	誤	正	誤
3	正	正	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【問 7 1】

中枢神経系に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 脳の重さは体重の約 5 %で、脳のブドウ糖の消費量も全身の約 5 %である。
- 2 全ての薬物は、血液脳関門を通過して脳の組織へ移行できる。
- 3 延髄には、心拍数を調節する心臓中枢、呼吸を調節する呼吸中枢などがある。
- 4 脊髄は、末梢からの刺激に対して脳を介して刺激を返す場合があり、これを脊髄反射と呼ぶ。

【問 7 2】

薬の吸収に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 内服薬の成分は、消化管で濃度の薄い方から濃い方へ拡散し吸収される。
- b 坐<sup>ざ</sup>剤は、内服の場合よりも全身作用が速やかに現れる。
- c 点眼薬は、投与量が少ないため、ショック（アナフィラキシー）などが起こることはない。
- d 皮膚に適用する医薬品（塗り薬）の浸透する量は、皮膚の状態、傷の有無や程度によって影響を受ける。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	誤	正	正	誤
3	正	正	誤	誤
4	正	誤	正	誤
5	誤	正	誤	正

【問 7 3】

薬の体内での動きと錠剤の特徴に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一度に多量の医薬品を摂取して血中濃度を高くしても、ある濃度以上で薬効は頭打ちになり、むしろ有害な作用が現れやすくなる。
- b 全身作用を目的とする医薬品は、その有効成分の血中濃度推移が無効域と危険域の間の範囲となるよう使用量や使用間隔が定められている。
- c チュアブル錠は、口の中で舐<sup>な</sup>めたり噛<sup>か</sup>み砕いたりして服用してはいけない。
- d 錠剤のように固形状に固めずに、粉末状としたものを顆粒剤という。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	正	誤	誤	正

【問 7 4】

医薬品の剤型に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 内服液剤は、内服固形製剤よりも飲みやすく、服用した後比較的速やかに消化管から吸収される。
- b シロップ剤は容器に残る分を予測し多めに有効成分が加えられているので、容器に残った部分を水ですすいで飲む必要はない。
- c カプセル剤を水なしで服用するとゼラチンが<sup>のど</sup>喉や食道に張り付くことがあるため、注意が必要である。
- d 軟膏剤とクリーム剤を比較したとき、適用部位を水で洗い流しやすくする場合などは軟膏剤を用いることが多い。

- 1 (a、b)    2 (a、c)    3 (b、d)    4 (c、d)

【問 7 5】

精神神経系に現れる副作用に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の副作用によって不安、震え等の症状を生じた場合は、原因と考えられる医薬品の使用を中止し、医師の診療を受けることが望ましい。
- b 無菌性<sup>ずい</sup>髄膜炎は、医薬品の副作用として生じることがない。
- c 無菌性<sup>ずい</sup>髄膜炎は、首筋のつっぱりを伴った軽い頭痛から徐々に長期間かけて症状が現れる。
- d 医薬品の長期連用、過量服用などの不適切な使用によって、倦怠感や虚脱感<sup>けん</sup>を生じることがある。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	正	誤	誤	正
5	誤	正	誤	正

【問 7 6】

医薬品が原因となって起こるショック（アナフィラキシー）に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品の成分に対する遅延型の過敏反応である。
- 2 アレルギーの一種であり、皮膚の痒みや蕁麻疹などの症状があらわれるが、死に至るおそれはほとんどない。
- 3 発症してから進行が非常に速いことから、発症した場合は、救急救命処置が可能な医療機関を受診する必要がある。
- 4 以前に医薬品の成分によりショックを起こした人は、同じ成分の医薬品には耐性ができているため、ショックを起こす可能性は低い。

【問 7 7】

医薬品の服用による副作用に関する記述について、当てはまる病名はどれか。

めまい、立ちくらみ、全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、脈が飛ぶような感じなどの症状が現れた。

- 1 消化性潰瘍
- 2 間質性肺炎
- 3 光線過敏症
- 4 鬱血性心不全
- 5 肝機能障害

【問 78】

医薬品が原因となって起こる偽アルドステロン症に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 黄疸<sup>だん</sup>を生じる。
- b 尿量が減少する。
- c 進行すると筋力低下を生じる。
- d 浮腫<sup>しゅ</sup>を生じる。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	誤	正	誤	正
3	正	誤	正	正
4	正	正	正	誤
5	正	正	誤	正

【問 79】

医薬品が原因となって起こるイレウス様症状に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 胃に激しい痛みを生ずる。
- 2 消化管出血により糞便が黒くなる。
- 3 腹部膨満感を伴う著しい便秘が現れる。
- 4 突然の吐血を起こすことがある。

【問 80】

医薬品の副作用に関する記述の正誤について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 抗コリン作用がある成分が配合された医薬品を使用すると、眼圧低下が誘発され、緑内障を悪化させることがある。
- b 散瞳を生じる成分が配合された医薬品を使用した後は、乗物や機械類の運転操作をさける必要がある。
- c 接触性皮膚炎は、原因となる医薬品が触れた部分だけでなく、広範囲にただれなどの炎症が起きる。
- d 循環器系に悪影響を生じるおそれが大きい医薬品は、高血圧や心臓病などの診断を受けた人には使用しない。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、c)      4 (b、d)

【問 8 1】

薬事法の規定に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 店舗販売業者は、店舗による販売又は配置による販売を行うことができる。 b 薬剤師でなければ薬局の開設許可を受けることができない。
- c 卸売販売業者は、一般の生活者に対して医薬品を販売することができない。
- d 医薬品製造販売業者は、自らが輸入した医薬品を薬局開設者に対して医薬品販売業の許可なく販売してもよい。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	誤	正	誤	誤
3	誤	誤	誤	正
4	正	正	正	誤
5	誤	誤	正	正

【問 8 2】

配置販売業に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 区域管理者は、薬剤師又は登録販売者でなければならない。
- b 購入者の居宅に予め預けておいた医薬品について、使用の有無に関わらず代金を請求することができる。
- c 区域管理者が薬剤師であっても、医薬品を開封して分割販売を行うことはできない。
- d 配置販売業者の配置員は、配置販売に従事しようとする都道府県ごとに、その都道府県知事が発行する身分証明書の交付を受けなければならない。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

【問 8 3】

次の店舗販売業に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 第一類医薬品については、薬剤師により販売することができる。
- 2 薬剤師が従事していない店舗においては、第二類医薬品の販売を行うことができない。
- 3 薬剤師が従事している店舗販売業では、医師が発行した処方せんに基づき調剤することができる。
- 4 医師などの医療従事者に対しては、医療用医薬品を販売することができる。



【問 8 4】

薬事法第 5 条に関する以下の記述について、( ) の中に入れるべき正しい字句の組み合わせはどれか。

薬局の許可基準は薬事法第 5 条で規定され、次の事項に該当するときは、その許可が与えられないことがある。

- 一 申請した薬局の ( a ) が、厚生労働省令で定める基準に適合しないとき
- 二 申請者が薬事法第 7 5 条第 1 項の規定により許可を取り消され、取消しの日から ( b ) を経過していない者であるとき

	a	b
1	構造設備	1 年
2	場所	1 年
3	構造設備	3 年
4	場所	3 年
5	構造設備	5 年

【問 8 5】

次の医薬品及び食品に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 特定保健用食品の許可は、都道府県知事が行う。
- b 無承認無許可医薬品とみなされた食品は、薬事法に基づく取締りの対象となる。
- c 食品である旨明記して販売していても、医薬品的な効能効果を表示した製品は医薬品に該当する。
- d 食品とは、医療用医薬品及び一般用医薬品以外のすべての飲食物をいう。

- 1 ( a 、 c )      2 ( a 、 d )      3 ( b 、 c )      4 ( b 、 d )

【問 8 6】

次の医薬品、医薬部外品及び化粧品の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 人の疾病の診断、治療若しくは予防に使用されることを目的とする物は、全て医薬品である。
- b 医薬品又は医薬部外品を製造販売するときは製造販売業の許可が必要であるが、化粧品を製造販売するときは製造販売業の届出を行えばよい。
- c 薬用歯みがき類として承認されているものは医薬部外品である。
- d 化粧品に医薬品的な効能効果を表示することは、一切認められていない。

- 1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

【問 8 7】

次の文は薬事法第 2 条第 2 項で規定される医薬部外品の定義の抜粋である。(      )の中に入れるべき正しい字句の組み合わせはどれか。

この法律で「医薬部外品」とは、次に掲げる物であって人体に対する作用が緩和なものを用いる。

- 一 次のイからハまでに掲げる目的のために使用される物（これらの使用目的のほか、併せて前項第二号又は第三号に規定する目的のために使用される物を除く。）であって機械器具等でないもの

- イ (      a      ) その他の不快感又は口臭若しくは体臭の防止
- ロ (      b      )、ただれ等の防止
- ハ 脱毛の防止、育毛又は除毛

- |   | a   | b   |
|---|-----|-----|
| 1 | めまい | かゆみ |
| 2 | めまい | あせも |
| 3 | 吐きけ | かゆみ |
| 4 | 吐きけ | あせも |
| 5 | 耳鳴り | かゆみ |

【問 8 8】

毒薬又は劇薬の譲渡に関する次の記述について、( ) の中に入れるべき正しい字句はどれか。

毒薬又は劇薬を、一般の生活者に対して販売又は譲渡する際には、当該医薬品を譲り受ける者から、品名、数量、使用目的、譲渡年月日、譲受人の氏名、住所及び( ) が記載され、署名又は記名押印された書類の交付を受けなければならないこととされている。

- 1 職業
- 2 電話番号
- 3 性別
- 4 年齢
- 5 続柄

【問 8 9】

毒薬及び劇薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 毒薬及び劇薬を貯蔵する場所については、かぎをかけなければならない。
- b 劇薬の直接の容器には、赤地に白枠をとって、当該医薬品の品名及び「劇」の文字が白字で記載されていなければならない。
- c 毒薬を18歳未満の者に交付することはできない。
- d 営業所管理者が薬剤師ではない卸売販売業者は、劇薬を開封して、販売をしてはならない。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	正

【問90】

次の一般用医薬品及び医療用医薬品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 患者自らが注射を行う医薬品は、医療用医薬品に分類される。
- b 一般用医薬品では、患者の状態により服用量が適宜増減することが認められていることが多いが、医療用医薬品では、年齢に応じて服用量が定められている。
- c 糖尿病に対する効能効果について承認された一般用医薬品がある。
- d 店舗販売業は医療用医薬品の販売をすることができず、卸売販売業は一般用医薬品の販売をすることができない。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	誤	正	正	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	正
5	正	正	誤	誤

【問91】

生物由来製品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 生物由来製品の指定は、厚生労働大臣が行う。
- b 生物由来製品の指定は、製品の使用による感染症の発生リスクに着目して行われる。
- c 生物に由来するものを原料として製造しても、医薬部外品は生物由来製品として指定されない。
- d 一般用医薬品には、生物由来の原料を用いることができない。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	誤	正	正	誤
3	正	正	誤	正
4	誤	誤	正	正
5	正	正	誤	誤

【問 9 2】

リスク区分及びリスク区分に応じた情報提供に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 第一類医薬品に分類された新一般用医薬品は、副作用等に関する情報を評価した結果に基づいて、一定期間を経た後に、第二類医薬品又は第三類医薬品へ指定が変更されることがある。
- b 第二類医薬品を販売するときは、薬剤師が購入者に対して書面を用いて適正使用に必要な情報を提供しなければならない。
- c 第三類医薬品を購入しようとする者から相談があった場合には、薬剤師又は登録販売者が適正使用に必要な情報を提供しなければならない。
- d 第三類医薬品とは、保健衛生上のリスクが低い一般用医薬品であり、身体の変調や不調が起こるおそれがない医薬品である。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	誤	正	誤	誤
3	正	正	正	誤
4	誤	誤	正	正
5	正	誤	誤	正

【問 9 3】

薬事法第 50 条の規定により、一般用医薬品の直接の容器への記載が義務付けられている事項として正しいものはどれか。

- 1 製造所の名称及び所在地
- 2 製造番号又は製造記号
- 3 販売店舗の名称及び所在地
- 4 「一般用医薬品」の文字
- 5 効能又は効果

【問 9 4】

薬事法第 5 4 条に関する以下の記述について、( ) の中に入れるべき正しい字句の組み合わせはどれか。

医薬品に添付する文書、その容器等又は外箱等に記載されてはならない事項が次のように定められている。

- 一 当該医薬品に関し ( a ) 又は誤解を招くおそれのある事項
- 二 薬事法第 1 4 条又は第 1 9 条の 2 第 1 項の規定による承認を受けていない効能又は効果
- 三 保健衛生上危険がある用法、用量又は ( b )

	a	b
1	虚偽	使用方法
2	虚偽	保存方法
3	虚偽	使用期間
4	誇大	使用方法
5	誇大	保存方法

【問 9 5】

一般用医薬品に係る広告に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 テレビコマーシャルなどの不特定多数に対する広告のみが薬事法で規制されており、ダイレクトメールを利用して特定の人物に対して広告する場合には薬事法の規制の対象外である。
- 2 承認前の医薬品に関しては、医師などの医療関係者に対しても広告を行ってはならない。
- 3 製薬会社又は医薬品販売業者以外の者が虚偽誇大な広告を行った場合は、薬事法の規定による罰則は適用されない。
- 4 医師が効果を保証する記事を広告することは禁じられているが、専門医が効果を保証する記事であれば広告することは認められている。

【問 9 6】

医薬品等適正広告基準に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 漢方処方製剤の効能効果は、配合されている個々の生薬成分の作用を挙げて説明することが認められている。
- b 含有する有効成分が医療用医薬品と同じであれば、一般用医薬品でも同じ効能効果がある旨広告することが認められている。
- c 承認されている効能効果のうち、一部のみを抽出した広告は不相当とされている。
- d 医薬品の使用前、使用後と比較した写真を掲載することは不相当とされている。

- 1 (a、b)      2 (a、d)      3 (b、c)      4 (c、d)

【問 9 7】

医薬品の陳列に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品と特定保健用食品と一緒に陳列することは認められている。
- 2 医薬品と化粧品と一緒に陳列することは認められている。
- 3 劇薬である第二类医薬品と劇薬ではない第二类医薬品と一緒に陳列することは認められていない。
- 4 第二类医薬品と第三類医薬品と一緒に陳列することは認められている。

【問 9 8】

医薬品の販売方法等に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 キャラクターグッズをつけて医薬品を販売することは認められている。
- 2 配置販売業において医薬品を先用後利によらず現金売りにより販売することは認められている。
- 3 医薬品を懸賞の商品とすることは認められている。
- 4 効能が同じ医薬品を組み合わせ販売することは認められている。

【問 99】

薬事法第69条第2項の規定により、都道府県知事が必要があると認めるときに薬事監視員に行わせることができる行為に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 薬局開設者が医薬品を業務上取り扱う場所に立ち入り、帳簿書類を検査することができる。
- b 薬事法違反が明らかとなった者を逮捕することができる。
- c 医薬品の販売業者に対して必要な報告をさせることができる。
- d 不正医薬品の疑いのある物を、試験のために必要な最少分量収去することができる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	正	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	正	誤	正

【問 100】

生活者からの苦情及び相談に係る次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 生活者からの苦情を端緒として、薬事法違反が見出されることはない。
- 2 消費生活センターには薬事監視員が配属されていないため、医薬品に関する相談は受けていない。
- 3 独立行政法人国民生活センターは、生活者へのアドバイスは行うことができるが、行政への通報は行うことができない。
- 4 医薬品販売の業界団体において、一般用医薬品の販売に係る苦情相談窓口を設置し、自主的チェックを図っている。



【問101】

一般用医薬品の適正使用情報に関する以下の記述について、正しいものはどれか。

- 1 医薬品を使用する前に専門家に相談すべき場合には、添付文書の使用上の注意の「相談すること」の項に記載がなされている。
- 2 一般用医薬品の添付文書に記載されている適正使用情報は、医薬品の販売等に従事する専門家を対象としているため、表現等が専門的にならざるをえない。
- 3 一般用医薬品の場合、それに添付する文書（添付文書）又はその容器若しくは包装に「用法、用量その他使用及び取り扱い上の必要な注意」を記載することが、通常薬事法では義務付けられていない。
- 4 医薬品の添付文書の内容は、確実な情報である必要があり、改訂は許されない。

【問102】

一般用医薬品の添付文書の使用上の注意の以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 一般用検査薬では、一般生活者の便宜を図り、その検査結果のみで確定診断してもよいことが記載されている。
- b 連用すると効果が減弱して医薬品に頼りがちになりやすい成分が配合されている場合には、「長期連用しないこと」等の記載がある。
- c 重篤な副作用としてアナフィラキシー様症状が掲げられている医薬品では、アレルギーの既往歴がある人等は使用しないこととして記載されている。
- d 医療用医薬品を服用している場合には、まず効果の緩和な一般用医薬品の使用を優先し、とりあえず医療用医薬品の服用は休止するように記載されている。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	正	正	正	誤
3	誤	誤	誤	正
4	正	誤	正	正
5	誤	正	正	誤

【問103】

一般用医薬品の添付文書中、使用上の注意の「してはいけないこと」の記載に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 「してはいけないこと」の項目の見出しには、目立つよう各社それぞれに工夫をこらした標識的マークが付けられている。
- 2 小児が使用した場合に有害作用を発現するおそれがある成分を含む場合には、「次の人は使用（服用）しないこと」の項に「15歳未満の小児」等として記載されている。
- 3 重篤な副作用として中毒性表皮壊死症が掲げられている医薬品は、「次の部位には使用しないこと」の項に「皮膚」と記載されている。
- 4 配合される成分の作用によって眠気や異常なまぶしさ等が引き起こされる医薬品は、「次の人は服用しないこと」の項に「運転操作をする人」と記載されている。

【問104】

第1欄の記述は一般用医薬品の添付文書の「使用上の注意」の記載に関するものである。（ ）の中に入れるべき字句は第2欄のどれか。

第1欄

使用上の注意には、まず最初の（ ）の項目に、守らないと症状が悪化するような事項が記載されている。

第2欄

- 1 「副作用」
- 2 「相談すること」
- 3 「してはいけないこと」
- 4 「効能・効果」
- 5 「その他の注意」

【問105】

次の1～5で示される成分のうち、その成分が主として含まれる医薬品の添付文書の「相談すること」の欄に、胃酸過多の症状がある人は、その医薬品を使用する前にその適否について専門家に相談するよう注意を求めているものはどれか。

- 1 塩化リゾチーム
- 2 アスピリン
- 3 塩酸ジフェンヒドラミン
- 4 無水カフェイン
- 5 リン酸コデイン

【問106】

次の1～5で示される成分のうち、その成分が主として含まれる医薬品の添付文書の「相談すること」の欄に、甲状腺疾患の診断を受けた人は、その医薬品を使用する前にその適否について専門家に相談するよう注意を求めているものはどれか。

- 1 アスコルビン酸
- 2 塩酸ブテナフィン
- 3 クロルフェニラミン
- 4 ポビドンヨード
- 5 ブロムワレリル尿素

【問107】

次の1～5のうち、化学変化や雑菌の繁殖を防ぐために、開封後は冷蔵庫内で保存することが望ましいのはどれか。

- 1 散剤
- 2 錠剤
- 3 カプセル剤
- 4 顆粒剤
- 5 シロップ剤

【問108】

医薬品の使用期限に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 表示されている使用期限は未開封状態で保存された場合に品質が保証される期限である。
- b 適切な保存条件の下で製造後1年を超えて性状及び品質が安定であることが確認されている医薬品については使用期限の表示の義務はない。
- c 配置販売される医薬品では、使用期限ではなく配置期限として表示される。
- d 使用期限は外箱と添付文書に記載しなければならない。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	誤	誤

【問109】

添付文書の内容のうち、外箱等にも記載されている事項の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 「医薬品の保管に関する事項」
- b 「使用にあたって添付文書をよく読むこと」
- c 「服用後、乗物または機械類の運転操作をしないようにする注意喚起」
- d 「次の部位には使用しないこと」

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	正
2	正	誤	正	正
3	正	誤	正	誤
4	正	誤	誤	誤
5	正	正	正	正

【問 1 1 0】

医薬品の保管に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 眼科用薬は、長期間保存すると変質する可能性があるため、家族間で共用し、できる限り早期に使い切ることが望ましい。
- b 乳幼児には成人に比べて素早い対応が求められるため、小児用医薬品は小児の身近なところですぐに手に取れるところに保管することが望ましい。
- c 旅行先や勤務先で緊急に医薬品が必要となる可能性があっても、医薬品を他の容器に移し替えて保管することは望ましくない。
- d 家庭における誤飲事故を避けるため、医薬品は食品と区別して保管することが重要である。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	正	正	誤
3	正	誤	正	正
4	誤	誤	正	正
5	誤	誤	誤	誤

【問 1 1 1】

「緊急安全性情報」に関する記述について、( ) の中に入れるべき正しい字句はどれか。

「緊急安全性情報」は、医薬品又は医療機器について重要かつ緊急な情報伝達が必要な場合に、( ) からその医薬品又は医療機器を取り扱う医療関係者に対して、4週間以内に原則として直接配布し、情報伝達されるものである。A4サイズの黄色地の印刷物で、ドクターレターとも呼ばれる。

- 1 厚生労働省
- 2 医薬品医療機器総合機構
- 3 厚生労働省からの指示に基づいて、製造販売元の製薬企業等
- 4 厚生労働省からの指示に基づいて、医薬品医療機器総合機構
- 5 製造販売元の製薬企業等からの申請に基づいて、厚生労働省

【問 1 1 2】

「医薬品・医療機器等安全性情報」に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 「医薬品・医療機器等安全性情報」には、医薬品の安全性に関する解説記事や、使用上の注意の改訂内容、主な対象品目、参考文献等が記載されている。
- b 「医薬品・医療機器等安全性情報」の内容は、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」で閲覧することができる。
- c 「医薬品・医療機器等安全性情報」は、収集された副作用、不具合等に関する情報の中から特に重要な情報がまとめられている。
- d 「医薬品・医療機器等安全性情報」は、概ね2か月毎に各製薬企業が発行している。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	誤	正	誤	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正
5	正	誤	正	正

【問 1 1 3】

「医薬品医療機器情報提供ホームページ」に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 日本製薬団体連合会が管理運営している。
- b 医薬関係者のみがアクセスできる。
- c 医療用医薬品のみが対象で、一般用医薬品の情報は掲載されていない。
- d 安全性に関する特に重要な情報が発出された時、その情報を電子メールにより配信するサービスを行っている。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	正	正	正	誤
4	誤	正	正	正
5	誤	誤	誤	正

【問 1 1 4】

以下の一般用医薬品の製品表示情報から読み取れる適正使用情報に関する記述について、（ ）の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

一般用医薬品のリスク区分のうち（ a ）は、その副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害が生ずるおそれがあるものであり、これらリスク区分に分類されている旨が製品表示から容易に判別できることによって、副作用の回避、早期発見のため必要な注意事項に自ずと関心が向けられ、積極的な情報提供を行う側も受ける側も、その意義や必要性について認識することができる。（ b ）に分類された医薬品については、その製品が医薬品であることが製品表示から明確になることにより、その本質として、適正に使用された場合であっても身体の変調・不調が起こり得ることや、添付文書を必ず読む意義、用法・用量等を守って適正に使用する必要性等について、その医薬品を購入し、又は使用する一般の生活者に認識できる。

	a	b
1	第一類医薬品	第二類医薬品
2	第二類医薬品	第一類医薬品
3	第一類医薬品	第二類医薬品又は第三類医薬品
4	第一類医薬品又は第二類医薬品	第三類医薬品
5	第二類医薬品又は第三類医薬品	第一類医薬品

【問 1 1 5】

薬事法の副作用情報の収集に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬関係者による副作用等の報告を義務化し、副作用等に関する情報の収集体制を強化している。
- b 副作用情報の収集は、医師や薬剤師に限られている。
- c 副作用情報の収集は、医薬関係者と製薬企業が合同で行わなければならない。
- d 医薬関係者は、製薬企業等が行う情報収集に協力するよう努めなければならない。

- 1 ( a、c )      2 ( a、d )      3 ( b、c )      4 ( b、d )

【問 1 1 6】

医薬品に関する承認後の使用成績調査についての以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品に関しても、承認後の使用成績に関する調査が製薬企業に求められている。
- b 製造販売元の製薬企業が承認後の使用成績を集積し厚生労働省へ提出する制度で、厚生労働大臣が定める期間はダイレクトOTCについては概ね8年である。
- c スイッチOTCの安全性に関する使用成績の調査及び調査結果の報告は承認後の概ね8年の期間に行われる。
- d 医療用医薬品については、承認後の使用成績に関する調査が行われるが、一般用医薬品にはこの調査は行われない。

1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)

【問 1 1 7】

副作用情報の評価と措置に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 副作用情報の評価は、医薬品を販売あるいは授与した施設ごとに行い、当該都道府県知事に届け出る。
- b 収集された副作用等の情報は、その医薬品の製造販売を行っている企業において評価・検討され、必要な安全性対策が図られる。
- c 各制度により集められた副作用情報については、当該都道府県において専門委員の意見を聞きながら調査検討が行われる。
- d 厚生労働省は安全対策上必要な措置として、効能・効果の一部変更、製造・販売の中止、製品の回収等を講じることができる。

1 (a、b)      2 (a、c)      3 (b、d)      4 (c、d)



【問 1 1 8】

次の医薬品副作用被害救済制度に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品副作用被害救済制度による給付費用は、国と製薬企業の折半で運営されている。
- b 医薬品副作用被害救済制度による給付では、請求期限が定められていない。
- c 救済給付の対象となるには、添付文書や外箱等に記載されている用法・用量、使用上の注意に従って使用されていることが基本となる。
- d 救済制度の対象とならない医薬品として、殺虫剤・殺鼠<sup>そ</sup>剤、殺菌消毒剤（人体に直接使用するものを除く）、一般用検査薬、一部の日局収載医薬品（精製水、ワセリン等）がある。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	誤	誤	正	正
3	正	正	誤	誤
4	正	誤	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【問 1 1 9】

次の記述は一般用医薬品の安全対策に関する事例を示したものである。正しいものはどれか。

- 1 アンプル入りかぜ薬は、錠剤や散剤等に比べて吸収が速く、血中濃度が急速に高値に達するため通常用量でも副作用を生じやすいことが確認されたため使用上の注意を改訂し注意を喚起した。
- 2 小柴胡湯<sup>しょうさいこうとう</sup>による間質性肺炎は、1991年4月以降、使用上の注意に記載されていたが、その後、小柴胡湯<sup>しょうさいこうとう</sup>とインターフェロン製剤の併用例による間質性肺炎が報告されたことから、1994年1月に併用禁忌とする旨、使用上の注意が改訂された。
- 3 一般用かぜ薬の使用によると疑われる間質性肺炎の発生事例が計26例報告されたので使用上の注意を「5～6回服用しても症状が良くならない場合には服用を中止して、専門家に相談する」旨の注意喚起がなされることとなった。
- 4 塩酸フェニルプロパノールアミン（PPA）は、女性が食欲抑制剤として使用した場合に、出血性脳卒中の発生リスクが高くなると米国で報告されたが、日本では、鼻水、鼻づまり等の症状の緩和を目的としており用量も少ないため問題にならなかった。

【問 1 2 0】

次の記述の（ ）の中に入れるべき正しい字句はどれか。

医薬品の持つ特質及びその使用・取扱い等について正しい知識を広く生活者に浸透させることにより、保健衛生の維持向上に貢献することを目的とし、毎年10月17日～23日の1週間を（ ）として、国、自治体、関係団体等による広報活動やイベント等が実施されている。

- 1 薬と健康の週間
- 2 薬の安全週間
- 3 薬物乱用撲滅週間
- 4 適正使用推進週間
- 5 副作用撲滅週間